



恐竜フィギュアの第一人者 荒木一成さんによる恐竜模型づくり教室



ちーたんグッズの販売も好評☆



恐竜漫画家の所 十三さんによるイラスト教室



ゆるキャラのわたるくと☆



化石発掘体験☆化石みつけるかな♪



神河町からやってきたカーミン(右端)は女の子に人気のかわいゆるキャラ。ハバタンの隣にはきららちゃんの姿も。

Contents もくじ

特集

「ちーたんの館」装い新たにOPEN! 2～3

トピックス・ちーたん日記 4～5

こちら市長執務室 7

教育たんば 9～11

イベント情報 14～15

*ありがとう!春日局の里健康マラソン大会ファイナル参加者募集!

民生委員・児童委員名簿 16～17

健康生活 18～19

情報ひろば 22～23

*年末年始の業務

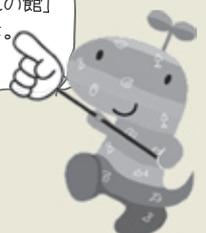
わが家のケータイ・インターネットルールコンテスト結果 24

[表紙の紹介]

子どもたちの笑顔いっぱい「子ども夢フォーラム」

恐竜界のスペシャリストやゆるキャラが大集合した「子ども夢フォーラム」が、12月5日(日)山南支所周辺で開催され、会場には子どもたちの笑顔があふれていました。

2～3ページではぼくが「ちーたんの館」を案内しているよ。



丹波竜ゾーン

丹波竜について色々な形で紹介しているよ。



木目調の落ち着いた館内。館内中央から入り口側丹波竜コーナーを望む。化石の展示も充実

見て見て！この迫力!!! 丹波竜と同時期に生きた肉食恐竜ラプトレックスとティラノサウルスの頭骨レプリカの迫力にはほくもびっくり！ここでは獣脚類の進化の歴史を学べるよ。

ハンズオンゾーン

ボタンを押したり引き出しの中をのぞいたりしながら恐竜について楽しく学ぼう！

「恐竜化石はどうやってできたの？」など子どもたちの疑問を楽しく解決！恐竜の世界に興味を持つことができるよ。



みんなが来てくれるのを、ぼくはいつも玄関で待ってるよ。ぼくといっしょに記念写真も撮ってね。入り口左手に自動販売機があるから、入場券を買ってね。

発掘現場で化石がどのような状態で埋まっていたのかを忠実に再現した模型だよ。臨場感あふれる展示にほくもびっくりしたよ。発掘作業の様子は画像でも見ることができるんだよ。

「第5次発掘調査が開始されたので恐竜大好きな息子と初めて発掘現場にも行ってきました」(父)「ちーたんの館に来て恐竜と発掘調査のことがもっとよく分かりました」(子) (大阪在住)



人気の「ちーたんマグカップ」をはじめ、ちーたんグッズがたくさんそろっておみやげやさん。ちーたんの館を訪れた記念に、また、遠くに住む人への贈り物にぜひお買い求めください。

物販コーナー

他にもいろいろなコーナーが・・・

「旧化石工房も何回か来たことがあるのですが、娘がちーたんの大ファンなので早速来てみました」(父)「広くなり色々な恐竜展示や、ちーたんも見れてよかったです」(母・子) (神戸市在住)



ビジターゾーン

発掘現場や発掘された地層(篠山層群)にスポットをあて、太古の大陸移動の時代にまでさかのぼって、丹波の自然環境について紹介しています。



クリーニングルーム

実際のクリーニング作業をガラス越しに見ることができます。映像モニターでは、作業の工程を紹介しています。



入口付近の壁の全身骨格図には、クリーニング作業が済んだ部分の骨格模型を貼りつけて行くよ。一目で丹波竜の大きさが実感でき、化石の発見状況も分かるんだ。すごいでしょ。



丹波竜化石工房「ちーたんの館」
装い新たにOPEN!



大型草食恐竜「丹波竜」について学べる展示施設「丹波竜化石工房 ちーたんの館」が、山南支所横に新装オープンしました。広さはこれまでの4.7倍。新しくなった館内には、丹波竜の化石をはめ込んだ巨大な「実物大壁面模型」や丹波竜の化石展示、ゲームで楽しく恐竜の世界を学び感じることができる「ハンズオンコーナー」などもあり、とても充実した内容。もちろん、クリーニング作業の様子も間近で見学できます。新しくなった工房に、ぜひお越しください。



オープンセミナーやワークショップなども開催できるセミナーゾーンもあり、「ちーたん」とともに地域に愛され、丹波市の「自然」「歴史」「環境」「教育」「観光」を未来へと継承する拠点施設として期待されています。

[利用案内] ■休館日:月曜日(祝祭日の場合は翌平日) 年末年始(12/29~1/3) ※今年のみ12月29日も開館します。100円 小中学生50円) *県内の小中学生はココロンカードの提示で入館料が無料になります。*その他団体割引および

■開館時間:午前10:00~午後4:00 ■入館料:大人(高校生以上)200円 小中学生100円(団体割引:大人(高校生以上)免除については、右記または窓口でお問い合わせください。☎ 0795-77-1887



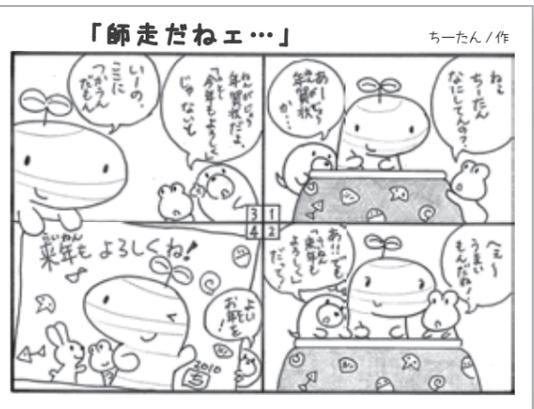
のどかなかどので冬まつり

毎年恒例の1年の締めくくりイベント「のどかなかどので冬まつり」が、12月11日(土)かどこの郷(氷上町上新庄)で開催されました。野菜市や各種屋台、子ども向けの映画や遊びコーナー、子どもと作る灯ろうまつりと冬の花火のコラボ、お餅まきやパフォーマンスなど、趣向を凝らした内容でたくさんの人出でにぎわいました。



木の根橋しめ縄かけかえ

12月11日(土)、木の根橋で新春を迎える準備のしめ縄の架けかえ作業が行われました。この日はかいばら厄除け市も開催され、買い物に立ち寄った人も、作業の様子を見守っていました。



ちーたん日記

12月4日・5日
新しくなった丹波化石工房「ちーたんの館」(やかた)だ。オープンイベントには、遠くからもたくさんのお友達が来てくれて、お祝いもたくさんおくれたの。ちーたんも感激！やっぱ友だちっていいな。体験コーナーではね、恐竜世界のえらい先生たちに、絵や恐竜フィギュアの作り方を教わったり、お話をきいたり、キッズたちの目がキラキラ輝いてとってもステキだったよ！ちーたんのオリジナル缶バッジづくりも大人気だったよ。

「ちーたんの館」ってねもちろんちーたんにも会えるし、化石や恐竜の勉強もできちゃうスゴイところなの。今まで通り、化石をクリーンングしているところも見学できるんだよ。そしてなんと兵庫県内の小中学生ならコココンカードがつかえるよ。まだ来ていないお友だちはぜひ来てよね。まってるよ！



2010年、みんなに会えてうれしかったよ。来年もちーたんを応援してね♡

来月号の「ちーたん日記」もお楽しみに！

将来は恐竜の研究をするのが夢という河居くん。サイエンスカフェ終了後、真鍋先生にサインをしてもらい、夢がさらに膨らみました。



河居一城くん(西宮市)
「先生たちから恐竜の話を受けて、質問もできて、色々な体験もできたのでとてもうれしかったです」と一城くん。「行きたいところがあるなら、世界は自分の力で行きなさい。でも、日本なら連れて行ってあげるよ」とお父さんに言ってもらって、参加してくれました。



サイエンスカフェではジュースなどを飲みながら、恐竜研究の最前線の話をもみな楽しく興味深く聞いていました。

国立科学博物館 研究主幹 真鍋 真先生

「現時点で1,000種類ほど見つかった恐竜も、数十万種類いるとも言われているうちの氷山の一角。子どもたちには、夢を持って将来にわたってどんどん新しい発見をしてほしい。地元の子にとってはもうあたりまえに思えるかもしれないけど、東京生まれの東京育ちのぼくには、この環境は理想的。『お父さんに頼んで引越してもらいたい』と思う人もたくさんいるはず。大事にしてほしいですね」



「恐竜・子ども夢フォーラム」

12月5日(日)、やまなみホールで開催された「恐竜・子ども夢フォーラム」では、恐竜の専門家たちが登壇し、子どものころの恐竜の思い出などを語りました。また、アシスタントを務める久下小6年生の児童らが、「恐竜の鳴き声はどんな声？」や「恐竜のツノにはどんな役目があるの？」など、事前に寄せられた質問を読みあげると、パネリストのみなさんは楽しく分かりやすく答え、会場を和ませていました。



歌って踊って元気いっぱいの「ちーたん組曲」

11月19日に開催された中央幼小音楽発表会で、中央小の1年生と幼稚園児が合同で「ちーたん組曲」を披露し、他の児童や保護者、地域の方々に大好評でした。同組曲は、恐竜に寄せる子どもたちの思いをセリフや合唱で表現する「きょうりゅうがどーん」や、児童の歌にあわせて園児らが花笠をつかって踊る「ちーたん音頭」、合同で太鼓や孟宗竹でつくった打楽器などを鳴らして合奏する「ちーたん囃子」などの4曲で、子どもたちは約15分間にわたってかわいく元気いっぱいに表現しました。



大学と地域の連携を考える「4大学合同シンポジウム」を開催

12月12日(日)、JA丹波ひかみ柏原支店で「丹波地域 大学・地域連携4大学合同シンポジウム」が開催されました。現在、丹波地域では、4つの大学(関西大学、関西学院大学、兵庫県立大学、神戸大学)がそれぞれのテーマで地域連携活動を展開しています。今回のシンポジウムは、これらの大学の活動発表や基調講演、パネルディスカッションをとおして大学と地域の連携について考える機会となりました。

第10回田捨女青春俳句祭 公開選句会を開催しました

11月27日(土) 柏原公民館を会場に“第10回田捨女青春俳句祭公開選句会”を開催しました。応募総数5,115句の中から予備選句において、各部門25句に選定された入賞俳句を、坪内稔典さん、宇多喜代子さん・大高翔さんといった第一線で活躍されている俳人の方が選者となり、公開方式での選句会を行いました。

また、第10回記念事業として午前中に「俳句ラリー」を同時開催し、丹波の秋を詠んだ思い思いの吟行句を投げいただきました。公開選句会は、選者の解説と作者の意見や感想を聞きながら進められ、和やかな雰囲気の中、大賞・優秀賞が選ばれました。



市内の受賞者 (敬称略)

「俳句ラリー」の部

大賞「黄落や窓も小ぶりの旧庁舎」中井順子(柏原町)

優秀賞「また妻を見る黄葉の中に居て」東明彦(春日町)

「小学生の部」

大賞「おじいちゃんといっしょにねたよばん休み」大木誇生(東小2年)

優秀賞「夏休み宿だいできたらいとこんち」谷川竜輝(芦田小3年)

「中学生の部」

大賞「千年の夏を見てきたおおけやき」田野真依子(氷上中3年)

優秀賞「しろかきに孤独な鳶のかげ一つ」山中慎太郎(青垣中3年)

優秀賞「祖父祖母のつくった柿をみなで食う」吉住優作(氷上中3年)

優秀賞「夏休み遊ぶ約束四件目」徳田朋花(柏原中3年)

「大学生・一般の部」

優秀賞「赤ん坊ひとりじめする夏座敷」高見恵美子(春日町)

市長からのメッセージ 【こちら市長執務室】

丹波市長 辻 重五郎

図書を寄贈いただきました

パナソニック電気施設照明労働組合春日支部から、児童向け図鑑(約10万円相当)を寄贈していただきました。春日図書館で年内に貸出をはじめの予定です。この図鑑で、子どもたちがいろんな世界に興味を持ってくれることを願います。



丹波市民生委員児童委員 (主任児童委員) に感謝

教育に関係のある代表などで構成される「区域民生委員推薦準備会」から推薦された方を、市議会の代表自治会の代表などで構成される「丹波市民生委員推薦会」で審議を行い、進達事務を経て厚生労働大臣から委嘱されます。任期は3年です。11月30日に任期満了となり、一斉改選を行います。

無報酬であることから、地域における相談・支援のボランティアと呼

現在、丹波市には民生委員・児童委員183人、主任児童委員13人、合計196人に厚生労働大臣・兵庫県知事から委嘱辞令が交付されています。

民生委員は、民生委員法によって設置が定められており、児童委員は児童福祉法により民生委員が兼ねることになっています。自治会代表や社会福祉団体の代表、民生委員代表

ばれていますが、身分は非常勤特別職の地方公務員であり、さまざまな制限事項、義務が課せられています。

この度、退任される民生委員・児童委員(主任児童委員)に対し、永年にわたるご労苦をねぎらうために、12月12日(日)に春日文化ホールで感謝状の贈呈式を執り行うとともに、12月1日付で新たに委嘱された196人の委員のみなさんへの辞令

の交付を行いました。

だれもが住みなれた地域でお互いが支え合えるまちづくりに向けて、民生委員・児童委員(主任児童委員)のみなさんには市民の身近なよき理解者としての役割を果たしていただき、市民が住んでよかったと感じていただける市政活動に鋭意努力を行って参ります。

夏には、東京足立区で高齢者の所在確認問題が発覚しました。委員の



みなさんには、同問題をはじめ児童虐待、配偶者暴力、いじめ、育児放棄などに対し、日ごろから「声かけ」や「安否確認」など住民の生活状態を適切に把握し、住民が自立した日常生活が送れるよう相談に応じ、必要な助言や援助を行っていただきま

す。また、社会福祉サービスなどの情報提供や、関係行政機関や施設とのパイプ役を務めていただきます。

本当に大変な役割を願っている民生委員児童委員のみなさんに、深い敬意と感謝を改めて申し上げますとともに、今後ますます地域福祉の重要性が増していく中、市民が安全に安心して暮らせる要としてお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



芦田自治振興会

ふるさとに誇りが持て、元気な芦田をめざして



ふるさと発見ウォーク

芦田自治振興会は、芦田小学校区内5自治会、630戸1,950人の協議会です。元気な芦田づくりをめざして活動しています。

特色として、子どもを囲む50人余りの様々なボランティア集団の活動があり、見守り隊、営農体験活動、友遊キャンプ、放課後子どもの「わくわくタイム」などに、積極的に大人の参加があります。交流活動としての「ふるさと発見ウォーキング」は、地域内の歴史的な史跡や人物を巡ることにより地域に誇りが持てます。併せて、健康への取り組みとなっています。例年、製薬会社のボランティアを100人余り受け入れ、草刈などにより交流しています。ニュースポーツ大会は、ボーリングやグランドゴルフなどを組み合わせ、人気があります。

これらの様々な活動は2カ月に1回のミニコミ紙「元気あした村」により各戸にお知らせしています。

ウォッチング 子育て

柏原子育て学習センター

社会教育課・中央公民館事務局
☎ 82 - 0409



ハロウィンパーティー



楽しいグループ活動

子育ての輪 ～子育てって楽しいね!～

ゆめわあく柏原（柏原子育て学習センター）ができて10年になります。毎年100組を超える親子がグループ活動に参加し、親子の交流の場として利用されています。子育てを楽しいと思える空間。それが毎日の活力になっていると感じて、子育てグループに参加しているお母さんたちがたくさんいます。また近年、女性の就労が増え、子育ては女性だけがするものではなく、子育てを積極的に行う父親（育メン）も増えてきました。土曜日の利用者の中に、パパと子どもたちというケースが多くなってきたのもその現れだと感じます。小学校などのPTA活動にも、ゆめわあく柏原で出会った子育て中の仲間が誘いあって、積極的に参加されている様子を耳にします。親も子どもともに育ちあい、親同士のつながりが広がっています。

グループ活動だけでなく、毎月開催するすくすく広場事業もたくさんの親子が参加しています。11月4日には丹波の森公苑で、柏原・山南なかよしコラボ「おちばのまつり」と題して、柏原・山南

地域の親子が集まり、秋の自然の中で落ち葉集めをし、集めた落ち葉で飾りつけたおみこしをかついで公苑の庭を練り歩きました。そして、まつりの曲にあわせて「ワッショイ♪ワッショイ♪」とかけ声をかけ親子で秋を満喫しました。おみこしをかついでいる親子の笑顔、はしゃいでいる子どもたち！本当に楽しそうでした。昼食は下小倉の畑で栽培したさつまいもと黒豆のおにぎりに豚汁とくろもじ茶でお腹いっぱいです。すばらしい秋晴れのもと、山南地域の親子のみなさんと交流ができ、秋の自然の中ですばらしい体験ができました。この事業によって、多くのボランティアの方々と一緒に「丹波で子育てを！」を発信してきたのではないのでしょうか。

ゆめわあく柏原では、子育てを通して、子育て仲間の輪が広がり、ますます人と人のつながりが広がっていくことを応援しています。



柏原・山南なかよしコラボ「おちばのまつり」

平成22年度 文学講座のご案内

図書館が市民のみなさんの生涯学習の拠点としての機能を果たすため、文学講座を開講します。ぜひご参加ください。

- とき・テーマ/
第1回 2月12日(土)「小林一茶の生き方」
- 第2回 3月12日(土)「漢字の謎」
- 時間/午後1時30分～
- 定員/50人(先着順)
- 講師/足立幸信さん(俳人協会幹事、俳誌「狩」同人、丹波新聞社・丹波市中央公民館俳句講師・梅花女子大学講師)
- 会場 中央図書館視聴覚室
- ※中央図書館まで電話またはファックスでお申し込みください。
- 参加料/無料
- ☎ 82 - 7100 FAX82 - 7200

BOOKS

みんなで図書館に出かけよう



☎ 図書館事務局 ☎ 82 - 7100

おすすめ図書

◆一般書「幸福立国ブータン」
大橋照枝/著 白水社(2010.10)

人口67万人の小国が、どのようにGNH(国民総幸福)大国になりえたか。第4代国王の提唱に始まったブータンのGNHの独自性とその国際的な広がりを、総合的に紹介する。



◆児童書「日本の昔話1 はなさかじい」
おざわとしお/再話 赤羽 末吉/画 福音館書店 1995年



この第1巻には、「花咲かじい」「干支のおこり」など、お正月から春を感じさせる話を中心に58の昔話が収められています。季節ごとに日本の昔話を集めた全5巻のシリーズ、全ての漢字に仮名が振ってありますので小学低学年のお子さんでも読むことができます。昔話(小学低学年くらいから)

ベストリーダー情報 (11月末現在)

【一般書】		【児童書】			
順位	本の名前	作者	順位	本の名前	作者
1	フリーター、家を買う。	有川 浩	1	三びきのやぎのからがらどん	マージャ・ブラウン
2	カッコウの卵は誰のもの	東野圭吾	1	しょうぼうじどうしゃじぶた	渡辺茂男
3	今日を刻む時計	宇江佐真理	3	おさるのジョージハロウィンパーティー	M.レイ
3	奇妙な賽銭	澤田ふじ子	3	のろまなローラー	小出正吾
3	新参者	東野圭吾	5	ちいさなねこ	石井桃子

予約ランキングベスト5 (11月末現在)

【一般書】		
順位	本の名前	作者
1	尾張ノ夏	佐伯泰英
2	夜行観覧車	湊かなえ
3	1Q84	村上春樹
4	今朝の春	高田 郁
5	プラチナデータ	東野圭吾

12月	日	月	火	水	木	金	土
	26	27	28	29	30	31	×
1月	×	×	×	4	5	6	7
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

×印は図書館休館日

年末年始の休館について

図書の返却は、中央図書館・市島図書館の返却ポストをご利用ください。なお、中央・山南・市島図書館は、館内資料整理のため、4日(火)も休館します。



*対象
幼=幼稚園 小=小学生
低=低学年 中=中学年

子育てひろば

- ♪柏原子育て学習センター ☎ 72 - 4747
15(土) おひさまのおはなし会 10:30
22(土) えのちゃんと親子で元気にワン・ツー・ジャンプ! 10:30 柏原公民館
- ♪氷上子育て学習センター ☎ 82 - 1001
15(土) お正月あそび 10:30 中央公民館
- ♪青垣子育て学習センター ☎ 87 - 1919
20(木) ママSUN講座 10:00
22(土) みんなでもちつき体験 10:30
- ♪春日子育て学習センター ☎ 74 - 3040
12(水) 子育て相談会 13:30
27(木) ひまわりサロン 10:00
- ♪山南子育て学習センター ☎ 77 - 3160
13(木) 親子ふれあい教室 お正月を遊ぼう、食べよう 10:00 やまなみホール
20(木) ひよこクラス ひよこのはじめてのお正月 10:00 山南住民センター
- ♪市島子育て学習センター ☎ 85 - 3030
14(金) わかば教室お正月あそび 10:00 ライフピアいちじま

※会場表示がないものは子育て学習センターで開催。

おはなし会

中央図書館 ☎ 82 - 7100	市島図書館 ☎ 85 - 3030
8日(土) 幼児 10:30	8日(土) 幼児 10:30
15日(土) 小 11:00	15日(土) 幼~小低 10:30
18日(火) 幼児 10:30	22日(土) 小 10:30
22日(土) 幼児 0:30	柏原図書館 ☎ 72 - 2552
青垣図書館 ☎ 87 - 1111	15日(土) 幼児 11:00
8日(土) 幼~小低 11:00	春日図書館 ☎ 74 - 0225
山南図書館 ☎ 77 - 0310	15日(土) 幼児~小低 10:30 春日公民館
8日(土) 幼児~小低 10:30	
21日(金) 幼児 10:30	*会場 各図書館
22日(土) 幼児~小低 10:30	山南地域は住民センター

児童館

- ♪こうがやま児童館 ☎ 82 - 8620
8日(土) 絵画教室 9:30 小
- 12日(水) トトロくらぶ 10:00 乳幼児
- ♪しろやま児童館 ☎ 82 - 0843
11日(火) おはなし会 10:30 乳幼児
- 15日(土) 作ってあそぼう 9:30 小
- 19日(水) トトロくらぶ 10:00 乳幼児

